第47期

デジタルトランスフォーメーションで
日本のビジネスを導く

IT を通じてよりよい社会の実現を目指す



第3四半期
決算短信補足資料
2026

JPX STANDARD
証券コード：4284

2026年11月10日

SOLXYZ
株式会社ソルクシーズ

2026年度 第3四半期 連結実績(注)

2026 年度　第３四半期 連結概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
連結業績の推移(対前年同四半期比) ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
連結業績の推移（5 ヶ年推移） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
セグメント別業績の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
要約連結貸借対照表（前期末比） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
要約連結貸借対照表（5ヶ年推移） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

(注) 本資料において、「第３四半期」は全て「第３四半期累計期間」を指します。

トピックス・企業集団の状況・当グループの強み

2026 年度　これまでのトピックス ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
企業集団の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
当グループの強み ・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

2026年度 計画

2026 年度　業界別市場動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
2026 年度　取り組み方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
2026 年度　連結計画 / 中期計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

資料

従業員の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
株主の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
会社情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～17
用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

第３四半期実績サマリー

（単位：百万円）

前年対比	2025 年 12 月期 第３四半期実績	2026 年 12 月期 第３四半期実績	前年 同四半期比 伸び率
売上高	12,901	13,785	＋ 6.9%
営業利益	1,072	1,108	＋ 3.3%
四半期純利益	583	658	＋ 12.9%

（単位：百万円）

進捗状況	2026 年 12 月期 通期計画	2026 年 12 月期 第３四半期実績	進捗率
売上高	18,000	13,785	76.6%
営業利益	1,600	1,108	69.3%
当期純利益	1,000	658	65.9%

第３四半期の売上高、営業利益ともに過去最高

□ 売上高

前年同四半期比＋ 6.9％増収、 対通期計画進捗率 76.6％

・生成 AI 活用需要や DX 需要を中心に、開発需要は堅調に推移。
・全セグメントにおいても第３四半期の売上高は過去最高を更新。
・インフラ・製造、その他金融、通信向けの各分野及び子会社基盤系向け開発が好調。

□ 営業利益

前年同四半期比＋ 3.3％増益、 対通期計画進捗率 69.3％

・ソフトウェア開発事業とエッジコンピューティング系が前年同四半期を上回る好調な着地。
・全体的に増益基調、特にソフトウェア開発事業の利益回復が牽引。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

第３四半期実績サマリー

ソフトウェア開発事業

- 金融系は、その他金融が大型案件の受注などにより増収。
  業種別により濃淡はあるものの、堅調に推移。
- 産業系は、大手ベンダーとの関係強化を継続し、安定基盤を強化。
  全業種で増収となり、特に製造、通信が好調。
- 機器販売は、一過性の大型案件剥落に伴い減収となるも、特殊要因を除けば平年並みの水準。
- 投資顧問系向けは既存案件が堅調に推移、システム基盤構築は旺盛な開発需要を背景に大きく伸長。
- 市場系フロント開発は、既存案件を安定的に積み上げ堅調に推移。

コンサルティング事業

- エッジコンピューティング系は、旺盛なソフトウェア開発需要を背景に自動運転開発支援など AI 関連企業の需要が好調。
  ストックビジネスは前年同四半期比では増加しているものの、計画比では下回っており、セールス代行や展示会を通じて案件創出増を図る。
- 業務系コンサルは、ＤＸコンサル需要は旺盛。
  引き続き人材確保を進めながら 案件獲得に取り組む。

ソリューション事業

- 自動車教習所向けは、ソリューションの売上が好調、
  引き続きクロスセルの強化 (N-PLUS ＋ MUSASI ＋ N-LINE、N-reco ＋ DrivIT) を推進。
  新ソリューション「高齢者講習等予約システム」をリリース。
- エッジコンピューティング開発は、航空宇宙・防衛関連の需要が継続して活発。状態監視需要についても引き続き好調。
- クラウドサービスは、アップセルが伸長し増収。セミナーや展示会への出展によりリード獲得を推進、新規契約件数の増加を図る。

足元の事業環境

ソフトウェア開発事業

- 生成 AI の活用需要や DX 需要を中心に、国内 IT 投資環境は全体として堅調に推移。慢性的な人材不足は継続、エンジニアの確保・育成が重要課題。
- 金融系は、DX 推進に伴う開発需要の堅調な推移を背景に、長期・優良案件の獲得と確実な遂行により事業成長を加速。
- 産業系は、大手ベンダーとの関係強化と協力会社要員のボリューム増加を図り、安定基盤の強化に繋げる。将来を見据えた新たな顧客案件の獲得にも引き続き注力し、売上・収益源の確保を図る。
- 採用・教育などの人的資本投資と M&A による成長投資を両輪とし、開発体制の強化と利益率向上を推進。

コンサルティング事業

- エッジコンピューティング系は、AI 関連銘柄（半導体製造装置・SDV・フィジカル AI など）から AI 活用支援の依頼が増加しており、ソフトウェア開発全体に対して「高品質」＋「高生産性」を AI で実現する支援を訴求することで需要拡大を狙う。
- 業務系コンサルは、DX コンサルへの展開により案件創出と開発需要の掘り起こしを図るとともに、コンサルの増員を進める。

ソリューション事業

- 自動車教習所向けは、外国人教習生増加に伴う多言語対応ニーズと高齢者需要の拡大に対応。ソリューションの多言語化と高齢者対応機能の強化により、新製品・サービスの販売拡大と収益化を推進。
  ベトナム事業は、若年層の人口増加を背景とした入校者数拡大と現地教習所の M&A により、事業基盤の強化を図る。
- エッジコンピューティング開発は、航空宇宙・防衛関連市場の継続的な拡大に加え、状態監視・予知保全システムなど多様な分野での需要も好調。市場成長を着実に取り込むため、組織体制の拡充を推進し、事業基盤の強化を図る。
- クラウドサービスは、サービス性向上への経営資源集中と収益モデルや販売パートナーの拡充等により収支改善傾向が継続。
  契約数の積み上がりが着実に増収や粗利率改善に繋がっており、この傾向を継続して更なる収益性の向上を図る。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績の推移(対 前年同四半期比)

(単位:百万円)

	2025年度 第3四半期実績		2026年度 第3四半期実績		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前年同四半期比 伸び率
売上高	12,901		13,785		6.9%
ソフトウェア開発事業	9,539	73.9%	10,172	73.8%	6.6%
コンサルティング事業	1,164	9.0%	1,208	8.8%	3.7%
ソリューション事業	2,198	17.0%	2,404	17.4%	9.4%
売上原価	9,687	75.1%	10,429	75.7%	7.7%
売上総利益	3,214	24.9%	3,355	24.3%	4.4%
販売管理費	2,141	16.6%	2,247	16.3%	5.0%
営業利益	1,072	8.3%	1,108	8.0%	3.3%
営業外損益	5	0.0%	3	0.0%	△ 35.1%
経常利益	1,078	8.4%	1,112	8.1%	3.1%
特別損益	△ 49	△ 0.4%	3	0.0%	― %
税金等調整前四半期純利益	1,028	8.0%	1,115	8.1%	8.5%
法人税等・法人税等調整額	401	3.1%	403	2.9%	0.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	0.3%	53	0.4%	22.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	4.5%	658	4.8%	12.9%

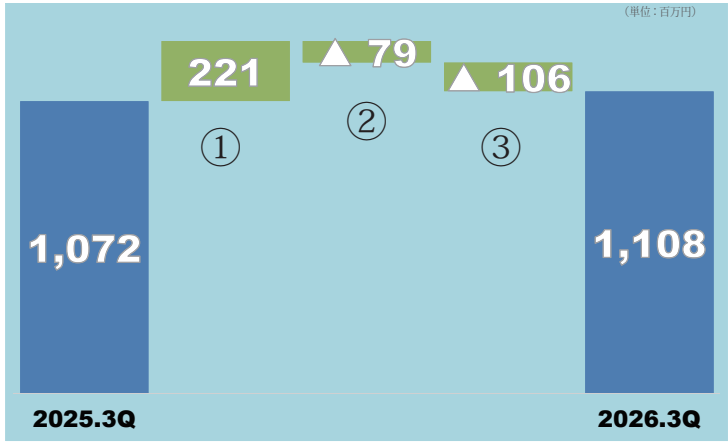
当セグメントの本体を含む全ての連結会社で増収

エクスモーション社のAIコンサル、生成AIサービスが注目を集める

イー・アイ・ソル社 航空宇宙・防衛市場での継続的な拡大が寄与し増収

主にノイマン社の自動車教習所向けソリューションの売上が好調

営業利益 分析



①ソフトウェア開発事業を中心に全セグメントで増収
②粗利率:開発原価増加等により粗利率微減
③販管費:ソフトウェア償却の増加、グループ会社の本店移転等による

セグメントの定義
■ソフトウェア開発事業
委託を受けて行う情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までのサービスの売上等のSI業務、並びに保守管理(AMO)、機器販売の売上を指し、組織的にはソルクシーズの各部の売上と連結子会社エフ・エフ・ソル、コアネクスト、アスウェア、エフの各売上を対象としています。
■コンサルティング事業
ソフトウェア開発の上流工程における設計支援、システム構築の企画・提案等のコンサルティングサービスの売上を指し、組織的には連結子会社インフィニットコンサルティング、エクスモーション(bubo含む)の売上を対象としています。
■ソリューション事業
パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ(周辺システムの開発を含む)、保守等の売上を指し、組織的には連結子会社ノイマン、Fleekdrive、イー・アイ・ソル、eek、ノイマンベトナムの売上を対象としています。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績の推移（5ヶ年推移）

（単位：百万円）

	2022年度 第3四半期実績		2023年度 第3四半期実績		2024年度 第3四半期実績		2025年度 第3四半期実績		2026年度 第3四半期実績		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前年同四半期比伸び率
売上高	**10,212**		**11,859**		**11,691**		**12,901**		**13,785**		**6.9%**
ソフトウェア開発事業	7,926	77.6%	8,973	75.7%	8,795	75.2%	9,539	73.9%	**10,172**	**73.8%**	**6.6%**
コンサルティング事業	893	8.8%	952	8.0%	1,038	8.9%	1,164	9.0%	**1,208**	**8.8%**	**3.7%**
ソリューション事業	1,392	13.6%	1,933	16.3%	1,857	15.9%	2,198	17.0%	**2,404**	**17.4%**	**9.4%**
売上原価	7,809	76.5%	8,993	75.8%	9,042	77.3%	9,687	75.1%	**10,429**	**75.7%**	**7.7%**
売上総利益	**2,403**	**23.5%**	**2,865**	**24.2%**	**2,648**	**22.7%**	**3,214**	**24.9%**	**3,355**	**24.3%**	**4.4%**
販売管理費	1,723	16.9%	1,963	16.6%	2,087	17.9%	2,141	16.6%	**2,247**	**16.3%**	**5.0%**
営業利益	**680**	**6.7%**	**901**	**7.6%**	**561**	**4.8%**	**1,072**	**8.3%**	**1,108**	**8.0%**	**3.3%**
営業外損益	21	0.2%	35	0.3%	44	0.4%	5	0.0%	**3**	**0.0%**	**△ 35.1%**
経常利益	**701**	**6.9%**	**937**	**7.9%**	**605**	**5.2%**	**1,078**	**8.4%**	**1,112**	**8.1%**	**3.1%**
特別損益	0	△0.0%	118	1.0%	0	△0.0%	△ 49	△0.4%	**3**	**0.0%**	**— %**
税金等調整前四半期純利益	**701**	**6.9%**	**1,056**	**8.9%**	**604**	**5.2%**	**1,028**	**8.0%**	**1,115**	**8.1%**	**8.5%**
法人税等・法人税等調整額	281	2.8%	389	3.3%	242	2.1%	401	3.1%	**403**	**2.9%**	**0.5%**
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	0.5%	22	0.2%	31	0.3%	43	0.3%	**53**	**0.4%**	**22.5%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	**368**	**3.6%**	**644**	**5.4%**	**330**	**2.8%**	**583**	**4.5%**	**658**	**4.8%**	**12.9%**

セグメントの定義

■ソフトウェア開発事業
委託を受けて行う情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までのサービスの売上等のSI業務、並びに保守管理（AMO）、機器販売の売上を指し、組織的にはソルクシーズの各部の売上と連結子会社エフ・エフ・ソル、コアネクスト、アスウェア、エフの各売上を対象としています。

■コンサルティング事業
ソフトウェア開発の上流工程における設計支援、システム構築の企画・提案等のコンサルティングサービスの売上を指し、組織的には連結子会社インフィニットコンサルティング、エクスモーション（buboを含む）の売上を対象としています。

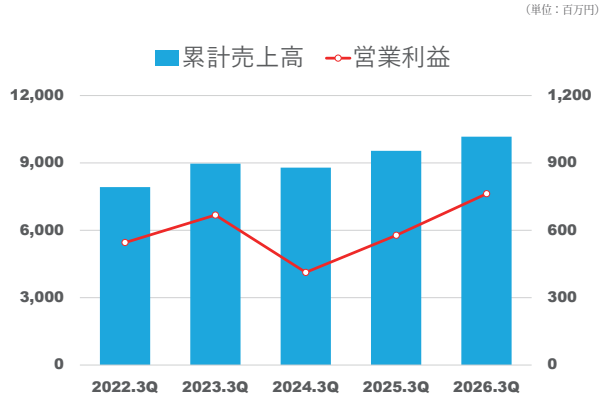
■ソリューション事業
パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ（周辺システムの開発を含む）、保守等の売上を指し、組織的には連結子会社ノイマン、Fleekdrive、イー・アイ・ソル、eek、ノイマンベトナムの売上を対象としています。

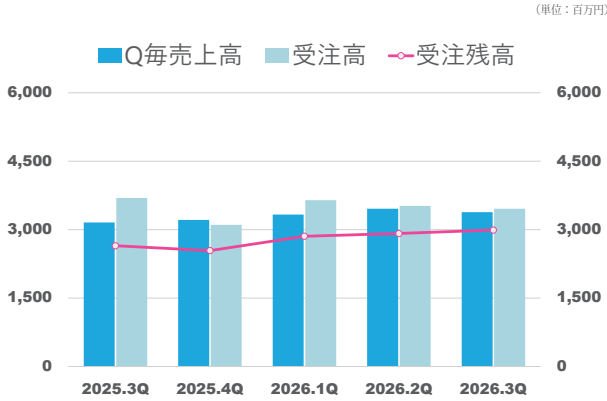
Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別売上高 及び 営業利益の推移

受注残高の推移

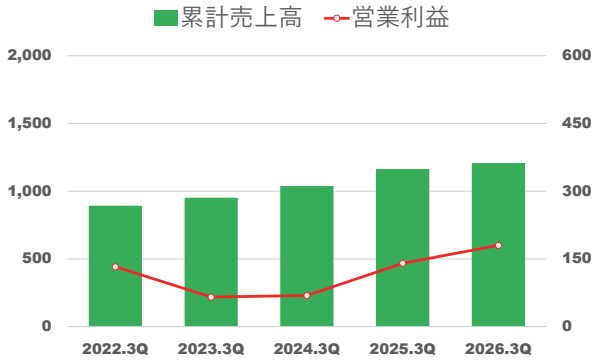
ソフトウェア開発事業

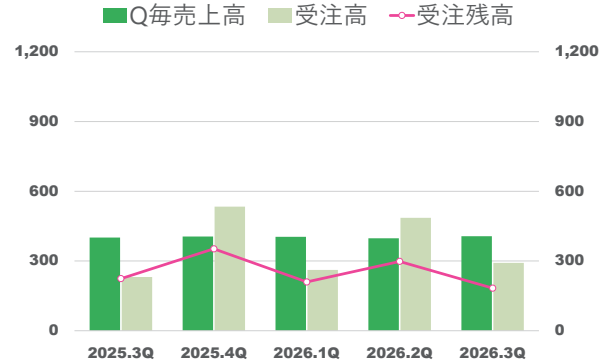




売上高	金融系ではその他金融・銀行が増収、産業系ではインフラ・製造、通信を中心に堅調に推移、子会社ではシステム基盤構築が特に好調だったことから、前年同四半期比で6.6%の増収。
営業利益	システム基盤構築が大きく寄与し、各事業も概ね堅調に推移したことにより、前年同四半期比32.1%増と大幅増益。
受注残高	長期・優良案件の獲得が着実に進み、前年同期比で12.9%増加。今後の安定的な売上を支える基盤が一層拡充。

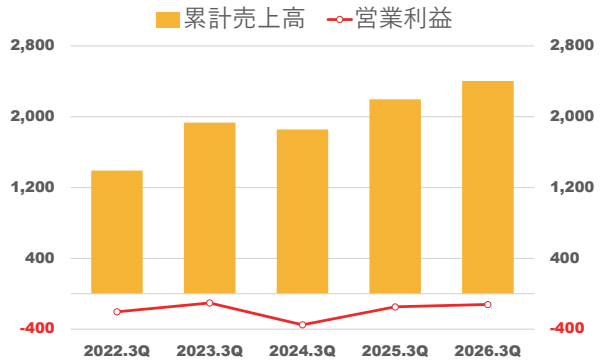
コンサルティング事業

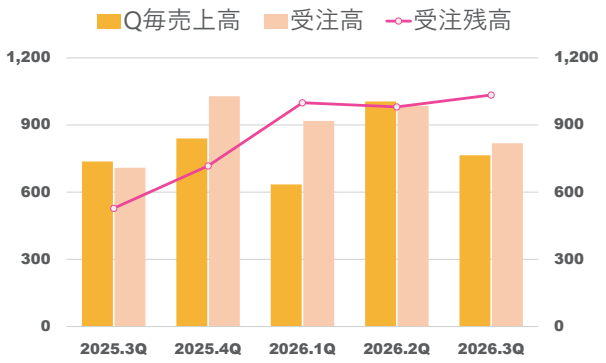




売上高	エッジコンピューティング系に加え業務系コンサルも増収により、前年同四半期比で3.7%の増収。
営業利益	生成AI活用コンサル需要の取り込みが利益貢献するなど、前年同四半期比28.3%の増益。
受注残高	前年同四半期比では18.2%減少。案件の売上化が進展した一方、先行きの売上確保に向けた受注の積み上げが課題。

ソリューション事業



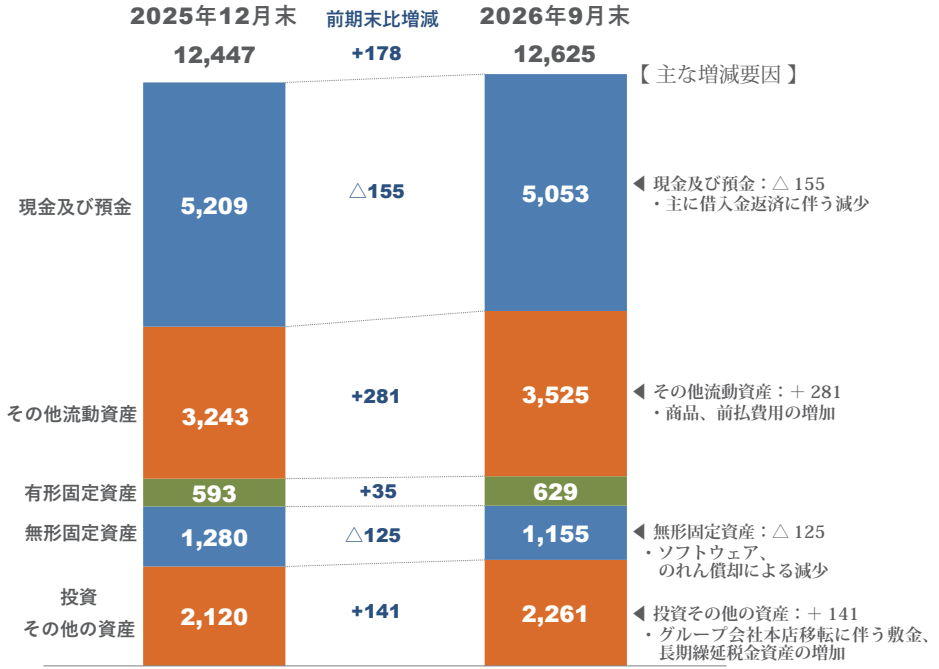


売上高	航空宇宙・防衛関連や自動車教習所向けが好調、クラウドサービスも増収したことにより、前年同四半期比では9.4%の増収。
営業利益	高利益率の航空宇宙・防衛関連の寄与に加え、自動車教習所向けサービスの売上増加により収支改善傾向が継続。
受注残高	航空宇宙・防衛関連の案件増加に加え自動車教習所向けシステムの契約更新数が増加したことにより、受注残高は前年同四半期比95.6%の増加。

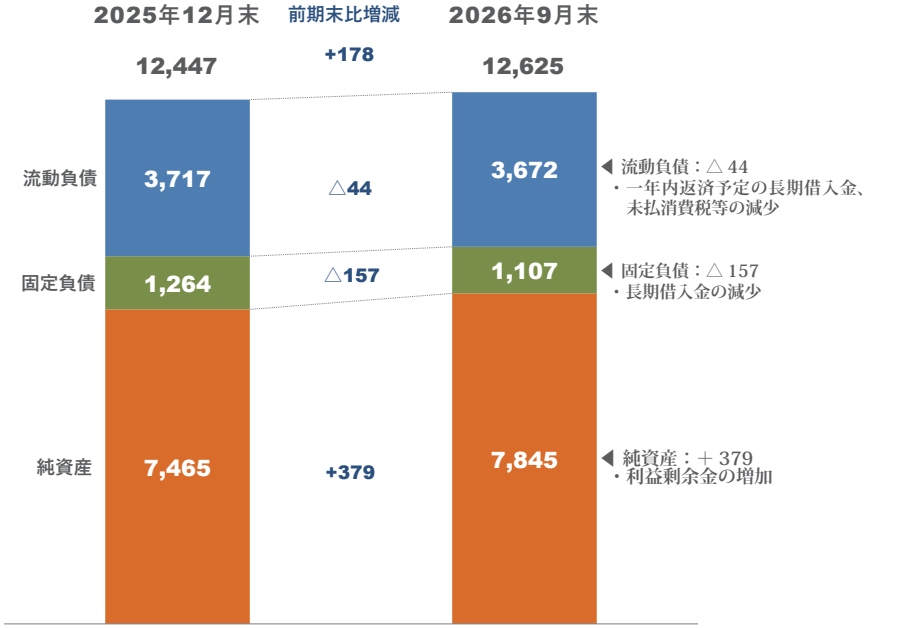
Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約連結貸借対照表(前期末比)

資産の部



負債/純資産の部



(単位：百万円)

	2025年度 12月末		2026年度 9月末			
	金額	構成比	金額	構成比	前期末比増減	前期末比増減率
【資産の部】						
Ⅰ 流動資産	8,453	67.9%	8,579	68.0%	125	1.5%
1．現金及び預金	5,209		5,053		△155	△3.0%
2．受取手形・売掛金 (注1)	2,932		2,924		△7	△0.3%
3．たな卸資産	120		318		198	165.5%
4．その他	190		281		90	47.7%
Ⅱ 固定資産	3,993	32.1%	4,046	32.0%	52	1.3%
1．有形固定資産	593	4.8%	629	5.0%	35	6.0%
2．無形固定資産	1,280	10.3%	1,155	9.1%	△125	△9.8%
(1) のれん	127		98		△28	△22.6%
(2) ソフトウェア	1,151		1,055		△95	△8.3%
(3) その他	1		1		0	△15.6%
3．投資その他の資産	2,120	17.0%	2,261	17.9%	141	6.7%
(1) 投資有価証券	1,035		960		△75	△7.3%
(2) その他	1,084		1,301		217	20.0%
資産合計	12,447	100.0%	12,625	100.0%	178	1.4%
【負債の部】						
Ⅰ 流動負債	3,717	29.9%	3,672	29.1%	△44	△1.2%
1．支払手形・買掛金	725		633		△91	△12.6%
2．短期借入金	1,010		1,010		0	0.0%
3．1年以内返済予定長期借入金	258		230		△27	△10.8%
4．その他	1,723		1,798		74	4.3%
Ⅱ 固定負債	1,264	10.2%	1,107	8.8%	△157	△12.4%
1．社債・長期借入金	816		640		△175	△21.5%
2．退職給付に係る負債	133		136		2	1.8%
3．役員退職慰労引当金	259		275		16	6.4%
4．その他	55		54		0	△1.7%
負債合計	4,981	40.0%	4,780	37.9%	△201	△4.0%
【純資産の部】						
Ⅰ 株主資本	6,281	50.5%	6,664	52.8%	382	6.1%
1．資本金	1,494		1,494		0	0.0%
2．資本剰余金	2,242		2,242		0	0.0%
3．利益剰余金	4,962		5,339		376	7.6%
4．自己株式	△2,418		△2,412		6	－%
Ⅱ その他の包括利益累計額	296	2.4%	280	2.2%	△15	△5.3%
1．評価差額金	235		229		△6	△2.6%
2．退職給付に係る調整累計額	61		51		△9	△16.2%
Ⅲ 非支配株主持分	887	7.1%	899	7.1%	12	1.4%
純資産合計	7,465	60.0%	7,845	62.1%	379	5.1%
負債・純資産合計	12,447	100.0%	12,625	100.0%	178	1.4%

(注1) 進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約連結貸借対照表(5ヶ年推移)

(単位:百万円)

	2022年度 9月末		2023年度 9月末		2024年度 9月末		2025年度 9月末		2025年度 12月末		2026年度 9月末			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期末比 増減	前期末比 増減率
【資産の部】														
Ⅰ 流動資産	7,390	65.5%	8,327	66.7%	7,663	64.1%	8,123	66.0%	8,453	67.9%	**8,579**	**68.0%**	125	**1.5%**
1．現金及び預金	4,774		5,144		4,572		4,978		5,209		**5,053**		△ 155	**△ 3.0%**
2．受取手形・売掛金 (注1)	2,233		2,837		2,630		2,781		2,932		**2,924**		△ 7	**△ 0.3%**
3．たな卸資産	156		167		235		121		120		**318**		198	**165.5%**
4．その他	225		178		224		242		190		**281**		90	**47.7%**
Ⅱ 固定資産	3,885	34.5%	4,156	33.3%	4,298	35.9%	4,177	34.0%	3,993	32.1%	**4,046**	**32.0%**	52	**1.3%**
1．有形固定資産	587	5.2%	575	4.6%	607	5.1%	599	4.9%	593	4.8%	**629**	**5.0%**	35	**6.0%**
2．無形固定資産	1,119	9.9%	1,341	10.7%	1,381	11.6%	1,321	10.7%	1,280	10.3%	**1,155**	**9.1%**	△ 125	**△ 9.8%**
(1) のれん	1		136		175		136		127		**98**		△ 28	**△ 22.6%**
(2) ソフトウェア	1,116		1,202		1,204		1,182		1,151		**1,055**		△ 95	**△ 8.3%**
(3) その他	2		1		1		1		1		**1**		0	**△ 15.6%**
3．投資その他の資産	2,178	19.3%	2,240	17.9%	2,308	19.3%	2,256	18.3%	2,120	17.0%	**2,261**	**17.9%**	141	**6.7%**
(1) 投資有価証券	1,139		1,167		1,148		1,008		1,035		**960**		△ 75	**△ 7.3%**
(2) その他	1,038		1,073		1,160		1,247		1,084		**1,301**		217	**20.0%**
資産合計	11,275	100.0%	12,484	100.0%	11,961	100.0%	12,301	100.0%	12,447	100.0%	**12,625**	**100.0%**	178	**1.4%**
【負債の部】														
Ⅰ 流動負債	2,526	22.4%	3,417	27.4%	2,920	24.4%	3,742	30.4%	3,717	29.9%	**3,672**	**29.1%**	△ 44	**△ 1.2%**
1．支払手形・買掛金	483		1,135		558		626		725		**633**		△ 91	**△ 12.6%**
2．短期借入金	360		360		760		1,010		1,010		**1,010**		0	**0.0%**
3．1年以内返済予定長期借入金	408		266		210		288		258		**230**		△ 27	**△ 10.8%**
4．その他	1,274		1,655		1,392		1,817		1,723		**1,798**		74	**4.3%**
Ⅱ 固定負債	1,030	9.1%	866	6.9%	737	6.2%	1,485	12.1%	1,264	10.2%	**1,107**	**8.8%**	△ 157	**△ 12.4%**
1．社債・長期借入金	522		255		83		871		816		**640**		△ 175	**△ 21.5%**
2．退職給付に係る負債	225		347		360		306		133		**136**		2	**1.8%**
3．役員退職慰労引当金	239		216		239		253		259		**275**		16	**6.4%**
4．その他	42		46		54		53		55		**54**		0	**△ 1.7%**
負債合計	3,557	31.5%	4,284	34.3%	3,658	30.6%	5,228	42.5%	4,981	40.0%	**4,780**	**37.9%**	△ 201	**△ 4.0%**
【純資産の部】														
Ⅰ 株主資本	6,511	57.7%	7,065	56.6%	7,200	60.2%	6,026	49.0%	6,281	50.5%	**6,664**	**52.8%**	382	**6.1%**
1．資本金	1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		**1,494**		0	**0.0%**
2．資本剰余金	2,250		2,255		2,239		2,244		2,242		**2,242**		0	**0.0%**
3．利益剰余金	3,491		4,038		4,184		4,706		4,962		**5,339**		376	**7.6%**
4．自己株式	△ 724		△ 722		△ 718		△ 2,418		△ 2,418		**△ 2,412**		6	**－%**
Ⅱ その他の包括利益累計額	430	3.8%	322	2.6%	282	2.4%	182	1.5%	296	2.4%	**280**	**2.2%**	△ 15	**△ 5.3%**
1．評価差額金	374		351		306		221		235		**229**		△ 6	**△ 2.6%**
2．退職給付に係る調整累計額	56		△ 29		△ 24		△ 38		61		**51**		△ 9	**△ 16.2%**
Ⅲ 非支配株主持分	776	6.9%	812	6.5%	820	6.9%	863	7.0%	887	7.1%	**899**	**7.1%**	12	**1.4%**
純資産合計	7,718	68.5%	8,200	65.7%	8,303	69.4%	7,073	57.5%	7,465	60.0%	**7,845**	**62.1%**	379	**5.1%**
負債・純資産合計	11,275	100.0%	12,484	100.0%	11,961	100.0%	12,301	100.0%	12,447	100.0%	**12,625**	**100.0%**	178	**1.4%**

(注1) 進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

2026 年度における９月までの各種施策の成果です。
引き続き成長分野に積極的な投資を行い、ソルクシーズグループ全体でお客様に最適な DX ソリューションを提供して参ります。

生成AI　生成AI サービス「SOLAI（ソライ）」SaaS 版の販売を開始

当社が提供する企業向け生成 AI サービス「SOLAI（ソライ）」の SaaS 版の販売を、2026 年 8 月より開始しました。

SOLAI は、生成 AI チャットと社内知識活用を軸に、企業の業務効率化と DX 推進を支援する法人向け生成 AI サービスです。社内知識活用には、社内文書や FAQ を参照して回答精度を高める「検索拡張生成（RAG）」技術を採用しています。

また、入力データを AI の学習に使用しない設計や、ユーザー単位の利用管理、個人別の管理者権限・RAG 作成権限の設定など、法人利用に適した管理機能を備えています。さらに、単なるツール提供にとどまらず、導入支援、操作研修、活用セミナー、RAG 構築支援、利用状況のモニタリングや改善提案など、導入から定着まで専門チームが伴走します。

今回販売を開始した SaaS 版は、環境構築を必要とせず、Web ブラウザからすぐに利用できます。初期投資や運用負担を抑えながら、文章作成、要約、翻訳、アイデア創出などの日常業務支援に加え、社内マニュアルや規程、FAQ などを活用した社内専用チャットボットの構築にも対応します。

■ SOLAI サイト：
https://www.solxyz.co.jp/solai/

教習所DX　株式会社ノイマン 群馬県指定自動車教習所協会より「高齢者講習等予約システム」を受注・提供

ノイマンは、群馬県指定自動車教習所協会様より「高齢者講習等予約システム」の開発を受注しました。新システムの運用は、2026 年 10 月より群馬県内において開始されました。

■システム導入の背景

群馬県では、高齢者講習等について、公安委員会からの委託により実施する「受託事業」として運用されてきましたが、2026 年 10 月から、一定の基準を満たした自動車教習所等が実施する「認定教育」へ移行しました。この制度変更に伴い、高齢者講習等の予約についても、従来の運用から新たな仕組みへの移行が必要となりました。

ノイマンは、自動車教習所向けシステムの開発・提供を通じて培ってきた業務知識やノウハウを活かし、受講者自身が希望に応じて予約できる Web 予約に加え、AI 電話による予約受付にも対応した「高齢者講習等予約システム」を開発しました。

■今後の展開

ノイマンは、本システムの提供を通じて、行政・公共機関及び関連団体におけるデジタル化・業務効率化を引き続き支援してまいります。高齢化が進む社会において、高齢運転者が安心して免許更新手続きを行える環境づくりに貢献するとともに、群馬県での運用実績をもとに、他の都道府県の指定自動車教習所協会や自動車学校への導入拡大についても進めてまいります。

■当社 HP ＞お知らせ：
https://www.solxyz.co.jp/news/20261009neumann/

IoT ADG　株式会社イー・アイ・ソル「NI Days Japan 2026」に出展

イー・アイ・ソルは、2026 年 9 月 16 日（水）開催の「NI Days Japan 2026」に出展しました。

展示ブースでは、人手不足に悩む現場向けの自動化・効率化・標準化ソリューションを紹介しました。岐阜大学様向け「液滴微粒化装置の高速度カメラシステム」などの事例紹介に加え、LabVIEW・Web アプリを融合した状態監視システムなどのデモも実施しました。また、航空宇宙・防衛分野では、AstroX 社との共同プロジェクトをご紹介するとともに、レーダー評価用の擬似信号発生装置のデモなども実施しました。

セッションでは、「人手不足・属人化の解消へ NI 製品で構築する自動化・効率化・標準化への最適解」と題した講演を行い、大変多くのお客様にご参加いただきました。

■当社 HP ＞お知らせ：
https://www.solxyz.co.jp/news/20260917eisol/





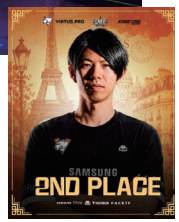
eスポーツ　株式会社eek エージェンシー契約 mi2ha4 選手「Esports World Cup 2026」準優勝

eek のエージェンシー契約選手である mi2ha4（みつはし）選手が、フランス・パリで開催された世界的 e スポーツ大会「Esports World Cup 2026」の『FATAL FURY: City of the Wolves』（日本語表記：『餓狼伝説 City of the Wolves』）部門に出場し、準優勝の成績を収めました。

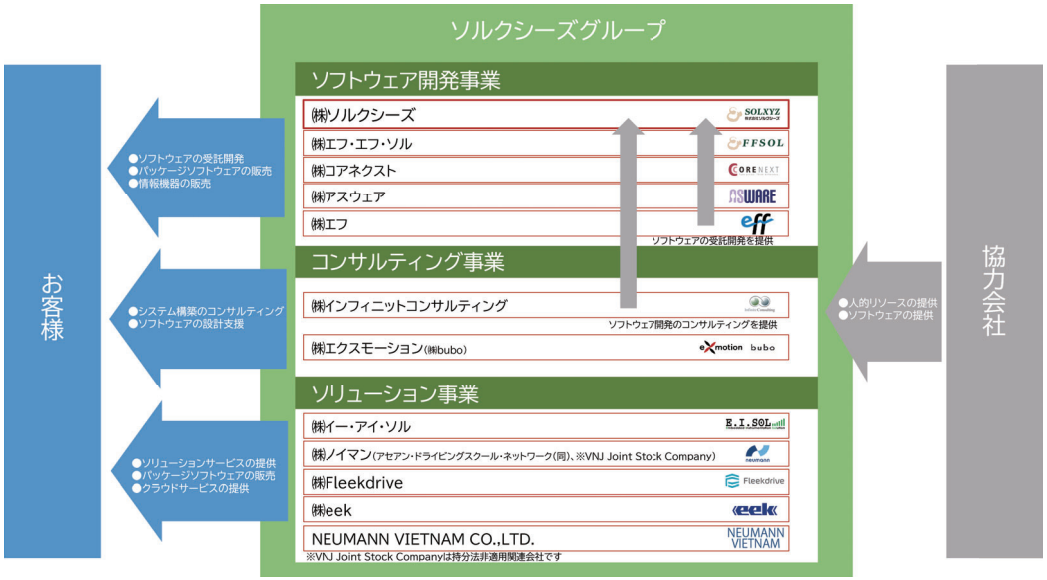
mi2ha4 選手は、世界各国の強豪選手を相手に勝ち上がり、公式発表による賞金 130,000 米ドルを獲得しました。日本人選手が世界トップレベルの競技環境において準優勝という実績を残したことは、国際 e スポーツ市場における日本人選手の競争力と存在感を示すものと考えています。また本件は、eek が推進するエージェンシー事業において、選手が競技に集中できる環境を整える支援体制が国際舞台においても有効に機能し、世界的な成果を支える一要素となったことを示す実績であり、今後の事業拡大につながる成果と捉えています。

■当社 HP ＞お知らせ：
https://www.solxyz.co.jp/news/20260810eek





Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.



連結対象子会社

2026 年 9 月末現在

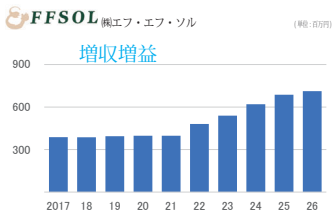
会社名	主な事業の内容	主な顧客	設立年月（取得年月）(注1)	資本金	議決権比率
㈱エフ・エフ・ソル	銀行系に特化した受託ソフトウェア開発	ネット銀行、メガバンク、地方銀行	2003 年 3 月	128 百万円	97.0%
㈱コアネクスト	投資顧問業向け等、証券バイサイドの受託ソフトウェア開発	投資信託、投資顧問	2009 年 12 月	9 百万円	100.0%
㈱アスウェア	ICT インフラの企画・構築・保守	SI ベンダー、通信系企業	2010 年 11 月	9 百万円	100.0%
㈱エフ	証券・銀行などの金融業界向け市場系フロントシステム開発	証券会社、メガバンク	2001 年 8 月（2024 年 7 月）	60 百万円	100.0%
㈱インフィニットコンサルティング	システム開発の上流工程におけるコンサルティング	証券会社、電気メーカー、医療系企業	2007 年 5 月	30 百万円	100.0%
㈱エクスモーション	自動車メーカーや医療機器メーカー等へのソフトウェアエンジニアリングを活用した実践的なコンサルティング	自動車メーカー、医療機器メーカー	2008 年 9 月	454 百万円	52.9%
㈱ｂｕｂｏ	ソフトウェアテスト請負・技術者派遣・コンサルティング	測定機器メーカー、車載機器メーカー	2012 年 8 月（2023 年 3 月）	5 百万円	52.9%
㈱イー・アイ・ソル	組込・制御・計測関連ソフトの開発、販売、その他サービス業務	製造業全般、官公庁、研究開発機関	2005 年 12 月	36 百万円	98.0%
㈱ノイマン	自動車教習所向け各種ソリューション提供 WEB マーケティングに関するコンサル・企画	全国の自動車教習所等（シェア 6 割以上）	1984 年 9 月（2007 年 11 月）	251 百万円	98.1%
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク (同)	ノイマンの各種ソリューションをベトナムに展開するための支援	—	2015 年 10 月	1 百万円	74.2%
㈱Ｆｌｅｅｋｄｒｉｖｅ	ファイル共有で業務を変える、チームを繋げる企業向けクラウドストレージの提供	全業種	2019 年 5 月	155 百万円	100.0%
㈱ｅｅｋ	e スポーツ特化型マッチングサイト運営、e スポーツに関するコンサルティング・エージェンシーサービス	e スポーツ業界	2022 年 7 月	25 百万円	98.0%
NEUMANN VIETNAM Co., Ltd.	ベトナムにおけるソリューションサービス	ベトナムの自動車教習所	2024 年 2 月	20 百万円	73.6%

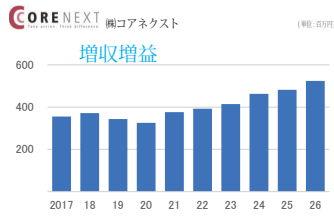
（注 1）買収等により連結子会社となった会社については、取得年月を（ ）内に記載しております。

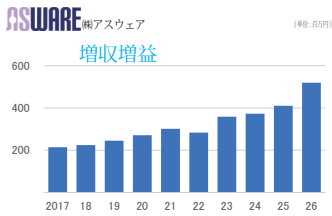
売上高 10 年推移

ソフトウェア開発事業





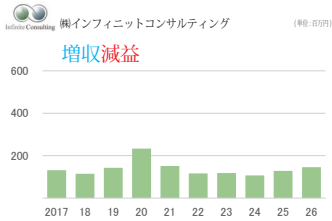


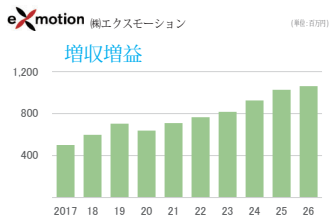




㈱エフにおいては 2024 年 9 月実績より連結取込しております

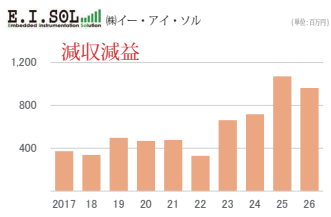
コンサルティング事業

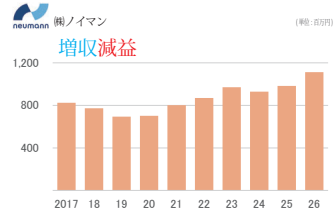


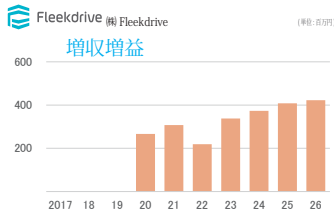


2023 年 6 月より、㈱エクスモーションは
㈱ bubo との連結決算の数字としております

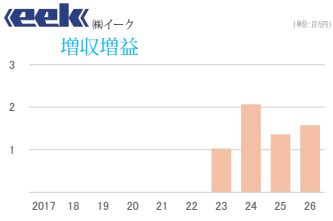
ソリューション事業





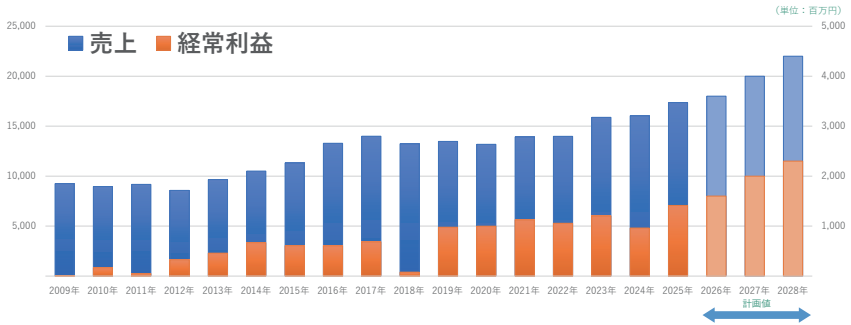


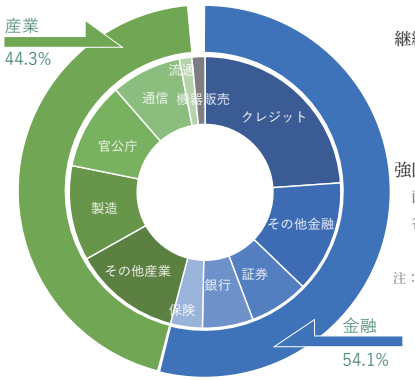
㈱ノイマンと㈱ teco は 2019 年 12 月 1 日付けで合併しましたので
上記グラフの 2019 年までの値は、両社合算の数字です



Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 安定的な経営基盤





継続的な成長

サブプライムローン問題や大震災などを起因とする経済不況を乗り越え、成長を継続
新型コロナウイルス感染症の影響も小規模に留まる

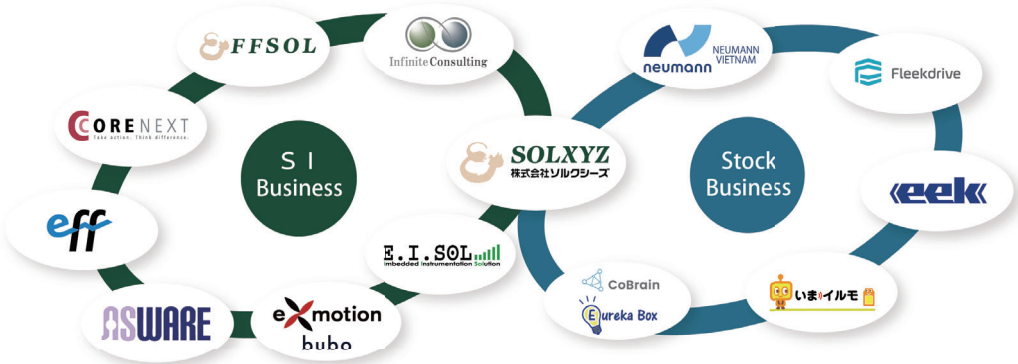
強固な顧客基盤

直接ご支援させて頂いている金融業界のお客様を主軸に、各方面のお客様とのお取引を長年に亘り継続

注：グラフはソルクシーズ単体の値です

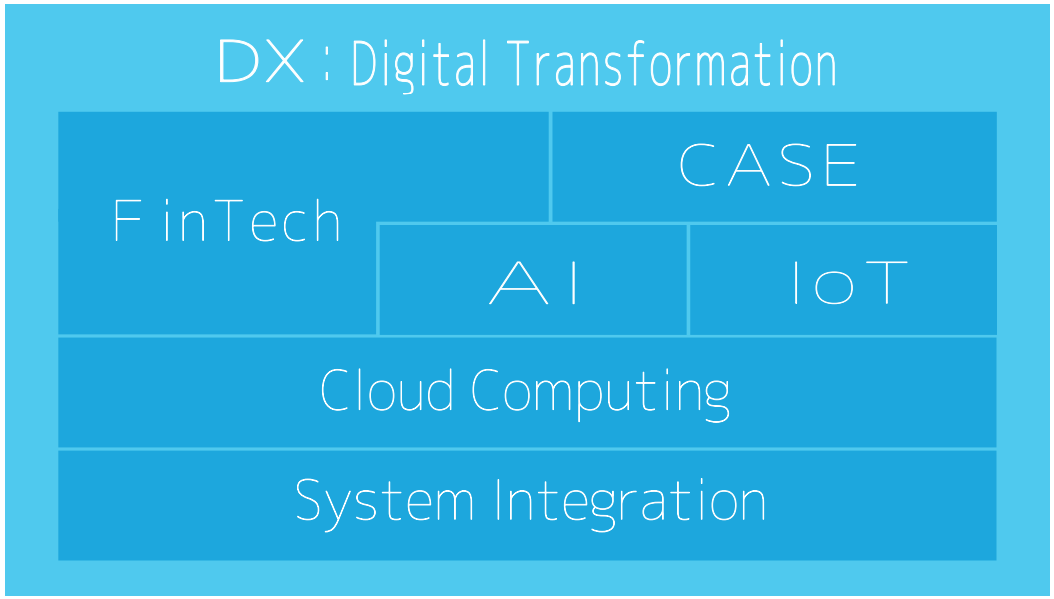
2 多彩なグループ構成

SIビジネスとストック型ビジネスの両輪で顧客のビジネスを支援
システム構築をワンストップで支援。インフラ構築からシステム企画・設計・開発、更にクラウドを始めとする各種サービス・ソリューションの提供など、様々な要望に対応

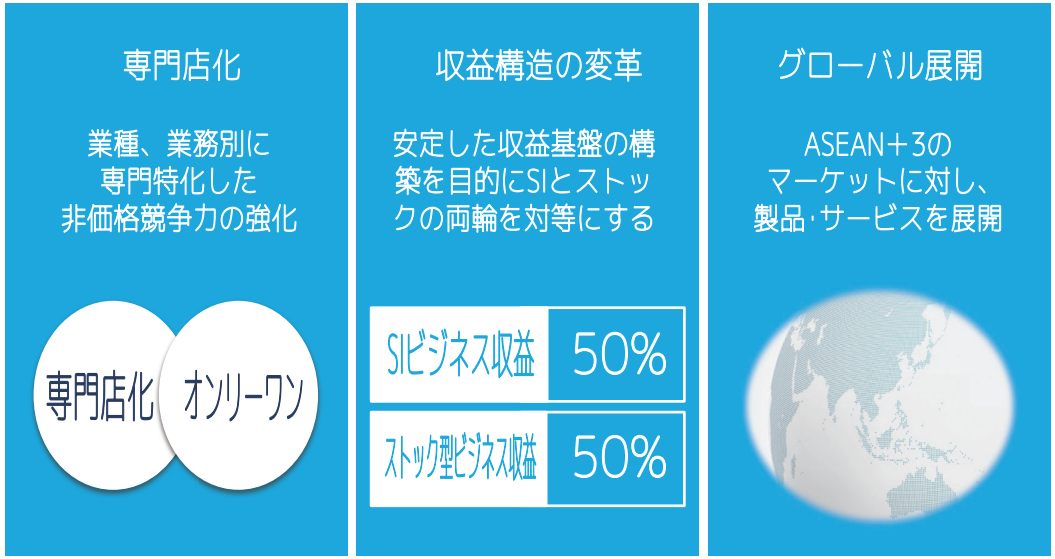


3 成長分野への積極投資

様々な領域に必要とされる新しい分野に向けて、積極的にビジネスを展開



4 3つの成長戦略により業績向上



Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 金融全般

2026年6月、日本銀行は政策金利を1.0%程度まで引き上げ長期金利の上昇も踏まえ「金利のある経済」への本格的な移行方針を打ち出しました。金融業界全体では、預貸金利ざやの改善に加え、有価証券運用収益の拡大や資産運用商品の販売増加などを背景に、銀行・証券・保険の各業態とも収益環境は改善傾向にあります。

このような収益改善を背景として、生成AIの活用、クラウド基盤への移行、セキュリティ強化、レガシーシステム刷新など、システム投資は引き続き高水準で推移しています。一方で、今後の事業環境には不透明要素も存在します。日本銀行の追加利上げのペース、海外経済の動向、地政学リスク、人材不足の深刻化に加え、エネルギー価格や為替相場の変動などが国内景気や企業業績に与える影響については、引き続き注視していく必要があります。

■ 銀行

2026年1～6月の銀行業界は三つの軸で動いた半年と言えます。

「地政学リスクによる市場変動 × 企業の資金需要増 × 金融機関の積極的な貸出姿勢」

日本の金融システムは総じて安定を維持しつつも、原油高・金利上昇・AI関連投資の拡大が銀行経営と市場に大きな影響を与えておりネット銀行、メガバンク、地銀の動向をまとめると下記のように表せます。

■ネット銀行

成長速度が最も速い。住宅ローン・カードローン・決済で存在感。手数料ゼロ文化で顧客獲得。

■メガバンク

海外収益・法人ソリューションが主戦場。AI投資・海外M&Aで規模拡大。国内は貸出競争が激化。

■地銀

人口減少で貸出は伸び悩み。非金融（コンサル・地域商社）へ事業転換。再編が継続。

■ クレジット

キャッシュレス決済市場は、経産省による指標見直し後の新目標「2030年に65%」の達成に向けて着実な成長を続けており、今後の更なる拡大が期待され、とくにスマホ決済の普及により従来の国際ブランドに加えハウスカード、個別クレジット、ＢＮＰＬなどクレジット市場の拡大や、異業種参入、ＦｉｎＴｅｃｈ連携が加速しております。また、AIを活用した与信・債権管理や日常業務の高度化、クラウドやネットワークなどインフラ高度化への需要が高まり、投資も活性化していると考えられます。

■ 証券

日経平均は、AI関連需要の増加により半導体関連、データセンタ関連、AI関連株を中心として2026年度上半期に一気に7万円台まで上昇し、1日の売買代金も昨年比を大幅に上回っており、証券会社及び機関投資家の執行業務には追い風となっております。

円安や地政学リスク（イラン情勢及びウクライナ情勢等）、長期金利の上昇等により一部企業業績への影響もあるものの全体的には企業業績は好調で、設備投資意欲も増加傾向であり、システム面ではAI関連投資及び不正アクセス防止(多要素認証・パスキー等)、サイバーセキュリティへの投資が活発に行われております。

2 通信・放送

通信業は、5G設備投資からAI活用へ予算をシフトがはじまっております。コンタクトセンターの生成AI化や障害を自律復旧するネットワーク自動化への投資が集中的に行われております。

放送業は、広告収入減少を受けコスト削減と配信強化への投資が集中しております。生成AIによる字幕・番組制作の自動化、独自配信プラットフォームの高度化への投資が拡大しております。

3 小売・流通

小売業は、深刻な人手不足対策とデータ活用を軸にした投資が進んでおります。キャッシュレスや物流効率化への投資が定着し、生成AIの業務実装が加速することが期待されております。

流通業は、人手不足解消と物流効率化への投資が定着しつつあり、自動化・省人化に向けたAIエージェントの現場導入やサプライチェーンの可視化に向けたシステム投資が増加しております。

4 官公庁

デジタル庁主導のガバメントクラウドへの移行に伴う基盤刷新と、行政サービスへの生成AIの業務実装・活用支援がシステム投資の柱となり、マイナンバーカードの機能拡張やセキュリティの高度化、自治体システムの標準化対応、バックオフィス業務のITを利用した効率化など多岐にわたってのシステム投資が活性化しております。

5 製造業

人手不足や老朽化した基幹システムの刷新需要を背景に投資が活発化しております。生成AIによる設計自動化やIoTによる工場全体のデータ一元管理など「攻めの投資」へシフトが加速基調になりつつあります。

加えて、国際情勢の不安定化に伴うサプライチェーン可視化など、競争力強化と持続可能性を両立する戦略的投資が進むと見込まれております。

環境認識

1 クラウドサービスのニーズの高まり

単独のクラウドサービスの利用だけではなく、ＡＰＩ連携させた幅広い利用形態など、企業のＩＴ戦略やクラウドの利用方法が多様化しています。更にIoTやＡＩとクラウドサービスの連携も進み、今迄以上にクラウドサービスが各種サービスの基盤となり、質の高いクラウドサービスを提供することが課題となっています。

2 ＩｏＴの活用

ＩｏＴ活用によるビッグデータの分析・解析にＡＩ活用のサービスが始まり、ウェアラブルデバイスや様々なクラウド技術を組み合わせたヘルステックや保守・点検業務の新領域も進化しており、あらゆる分野に活用されています。こうしたＩｏＴと各種デバイスなどを活用したソリューションの提供が課題となっています。

3 ＣＡＳＥの進歩

特定の条件下でシステムが全て操作し、人の対応は必要ない「自動運転レベル4」が2023年4月1日の道路交通法改正で解禁されました。ソフトウェアを基軸にモビリティの内外をつなぎ、機能を更新し続け新たな価値と体験を提供するＳＤＶ化により、自動運転および電動化の開発を加速することが課題となっています。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの広がり

新NISA制度の開始により、ブロックチェーンやスマートコントラクトなどの分散型台帳技術を核にしたサービスが、益々活発化するものと思われます。加えて組み込み型金融領域への投資需要により非金融事業者との連携が活発化することで、新ビジネス創出の機会が増えつつあります。

5 ＡＩ利用の本格化

Chat GPTをはじめ「生成AI」は日進月歩で進化を遂げており、適用範囲は製造現場の業務支援や製品開発支援だけでなく、金融・公共・通信など多くの分野で利活用がより広まると予測され、課題は生成AIを組み込んだソリューションの提供に加えて、AIを分析・活用できる人材の育成と確保であり、各業界共通の課題です。

基本方針

1 クラウドサービスの強化・推進

㈱Fleekdriveが提供するオンラインストレージサービス「Fleekdrive」、クラウド帳票サービス「Fleekform」を核に、販売パートナーの拡充、OEM提供先の拡大などの連携を推進し、生成AIを用いた機能拡充も検討していきます。また引き続き、海外市場の開拓・拡大を図ります。

2 ＩｏＴの取り組み強化

グループが持っているセンシング技術を利用したサービスを組み合わせ、新たなソリューションを創出していきます。また、見守りサービス「いまイルモ」の拡販に向けた活動の強化、「状態監視／予知保全システム」などのセンシングサービスによる、航空宇宙・防衛領域への拡大を推進します。

3 ＣＡＳＥの取り組み強化

㈱エクスモーションを中心に自動車業界へのソフトウェア設計の支援体制を拡大しており、自動車業界以外の製造業からのソフトウェア設計の需要も伸びております。また、日本政府が推進するハードウェアスキルからソフトウェアスキルへのリスキリングに対応し、人材育成事業を積極的に展開してまいります。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの取り組み推進

ＦｉｎＴｅｃｈ関連の開発案件の獲得を目的とした技術協力を中心に、ブロックチェーンやバーチャルカレンシーの他、国内のＱＲコード決済事業者向けＦｉｎＴｅｃｈサービス、アンチマネーロンダリングを意識した海外向け顧客管理業務などの開発案件への参画を推進しています。

5 ＡＩの取り組み推進

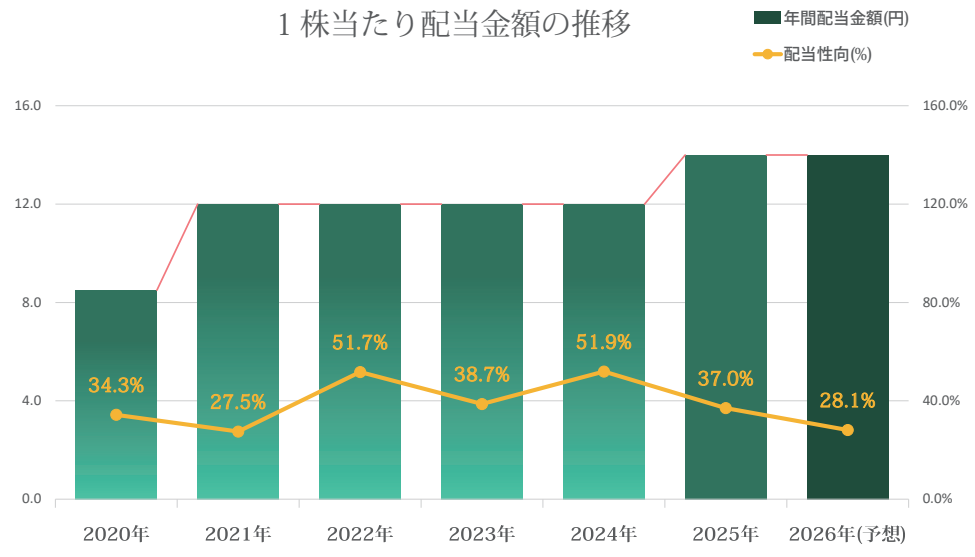
企業向け生成AIサービス「SOLAI（ソライ）」を2026年4月より提供開始し大手ホームセンターにおいて採用されるなど実績を上げています。また、生成AIを活用した開発支援サービス「CoBrain」の販路を拡大していきます。今後、幅広い業界・分野における顧客ニーズの増加を受け、社員の技術力向上を積極的に推進します。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

（単位：百万円）

通期	2024 年度実績		2025 年度実績		2026 年度計画		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	16,041		17,359		18,000		3.7%
ソフトウェア開発事業	11,787	73.5%	12,750	73.5%	13,300	73.9%	4.3%
コンサルティング事業	1,443	9.0%	1,569	9.0%	1,600	8.9%	2.0%
ソリューション事業	2,810	17.5%	3,038	17.5%	3,100	17.2%	2.0%
売上原価	12,333	76.9%	13,090	75.4%	13,400	74.4%	2.4%
売上総利益	3,707	23.1%	4,268	24.6%	4,600	25.6%	7.8%
販売管理費	2,786	17.4%	2,871	16.5%	3,000	16.7%	4.5%
営業利益	920	5.7%	1,397	8.0%	1,600	8.9%	14.5%
経常利益	962	6.0%	1,413	8.1%	1,600	8.9%	13.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	562	3.5%	839	4.8%	1,000	5.6%	19.2%

連結財政状態および配当状況



中期計画については毎年見直し（ローリング）を行う方針に則り、最近の業績動向や経営環境の変化等を踏まえ、2026 年から 2028 年までの見直しを行いました。
今後も経営環境の変化が予想されることを踏まえこうした変化に適切に対応するため、中期計画については毎年見直し（ローリング）を行っていく予定です。

中期計画の基本方針

1 経営基盤の強化

既存事業を再評価し、経営資源の成長分野への傾斜的集中と不採算部門の再構築を進める。成長分野については、十分なフィージビリティスタディとグループ内シナジー効果の確認の下、積極的な進出・強化を図る。

2 本業であるＳＩビジネスの競争力強化

業種・業務別の専門特化戦略を継続推進し、非価格競争力を強化する。
オフショア・ニアショア開発の積極的利用による価格競争力の強化と、お客様との低コストメリットの共有化を推進する。

3 ストック型ビジネスの強化・拡大

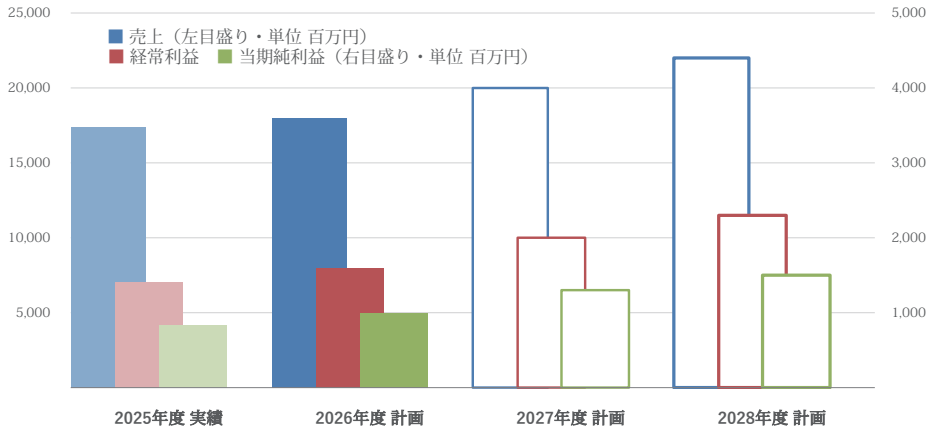
クラウドサービス「Fleekdrive」や、IoT による見守りサービス「いまイルモ」、IoT ソリューションである「状態監視／予知保全」などについては、引き続き強化・推進し、事業基盤の強化と収益安定化に向けて注力していく。最終的には SI ビジネスと並ぶ収益の柱として成長を加速、利益比率で５０：５０にする。
また、クラウド・AI・IoT の活用など、ICT 市場における技術の変化に対応し、グループの持つソリューションの更なる拡大について、継続的に推進する。

4 海外マーケットの開拓

海外マーケットに対し、グループ内外の優れた製品・サービスを積極的かつスピーディーに紹介・展開し、新たなストック型ビジネスとして拡大する。ASEAN マーケットの一つであるベトナムには、日本でのノウハウが蓄積された自動車教習所向けソリューションを現地で展開し、ベトナム全土への横展開を図る。

連結中期計画の売上高・利益目標

	2025 年度 実績	2026 年度 計画	2027 年度 計画	2028 年度 計画
売上高	17,359	18,000	20,000	22,000
（経常利益率）	(8.1%)	(8.9%)	(10.0%)	(10.5%)
経常利益	1,413	1,600	2,000	2,300
当期純利益	839	1,000	1,300	1,500



Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

従業員の推移

個別

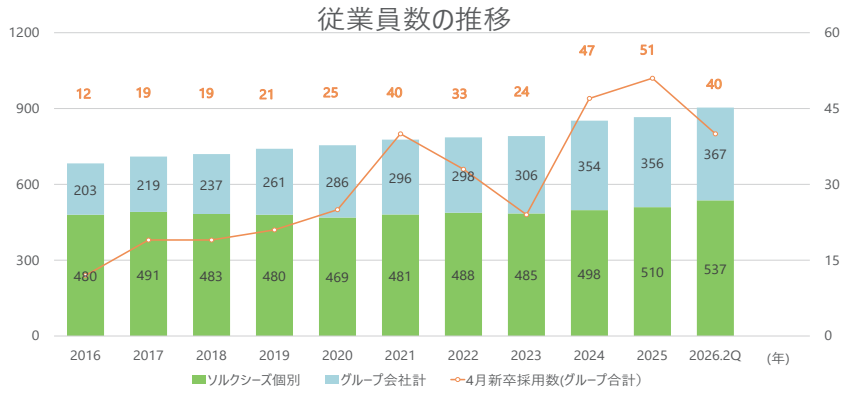
（単位：人）

	2024 年 12 月期		2025 年 12 月期		2026 年 12 月期
	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）	（12 月末）	**（6 月 末）**
全従業員	512	498	517	510	**537**
内　女性数	97	96	101	100	**107**
事業本部（技術）	439	429	449	441	**469**
営業本部	29	29	28	29	**29**
経営企画、管理本部他	44	40	40	40	**39**
平均年齢（歳）		41.8	40.8	41.4	**40.9**
平均勤続年数（年）	―	14.9	14.4	14.7	**14.4**
平均年収（万円）		604	―	609	―
新卒採用人数	36	―	37	―	**24**
初任給（千円／月）	235		235		**240**

連結

（単位：人）

	2024 年 12 月期		2025 年 12 月期		2026 年 12 月期
	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）	（12 月末）	**（6 月末）**
全従業員	827	852	879	866	**904**
内　女性数	174	183	194	189	**199**
事業本部（技術）	690	712	741	727	**764**
営業本部	69	70	69	70	**69**
経営企画、管理本部 他	68	70	69	69	**71**



（注 1）2019 年 5 月 に（株）Fleekdrive を設立（分社化）したことによる増減が含まれます。

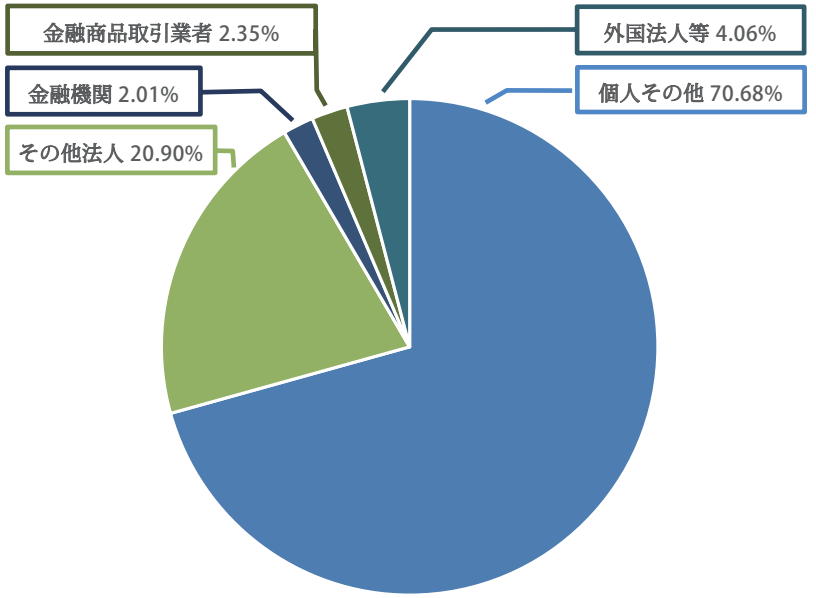
株主の状況

大株主の状況

2026 年 6 月 30 日現在

氏名 又は 名称	属性	所有株式数（千株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
㈱ビット・エイ	事業会社	2,640	13.09%
長尾　章	取締役	1,119	5.55%
㈱ヤクルト本社	事業会社	1,060	5.25%
ソルクシーズ従業員持株会		441	2.19%
松下　彰利	個人株主	282	1.40%
吉木　伸彦	個人株主	253	1.25%
岩崎　泰次	個人株主	208	1.03%
センコン物流㈱	事業会社	200	0.99%
ＩＮＴＥＲＡＣＴＩＶＥ　ＢＲＯＫＥＲＳ　ＬＬＣ	外国法人	171	0.85%
萱沼　利彦	取締役	157	0.78%
その他		13,639	67.61%
計		20,172	100.00%

所有者別の状況



（注）　1. 発行済株式の総数は 26,820,594 株となります。
2. 自己株式は上記大株主から除外しております。
3. 持株比率は自己株式 (6,648,052 株) を控除して計算しております。
なお、自社株式には、株式給付信託（J-ESOP）制度の信託財産として、㈱日本カストディ銀行 (信託 E 口) が保有する当社株式 (102,400 株) を含めておりません。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要

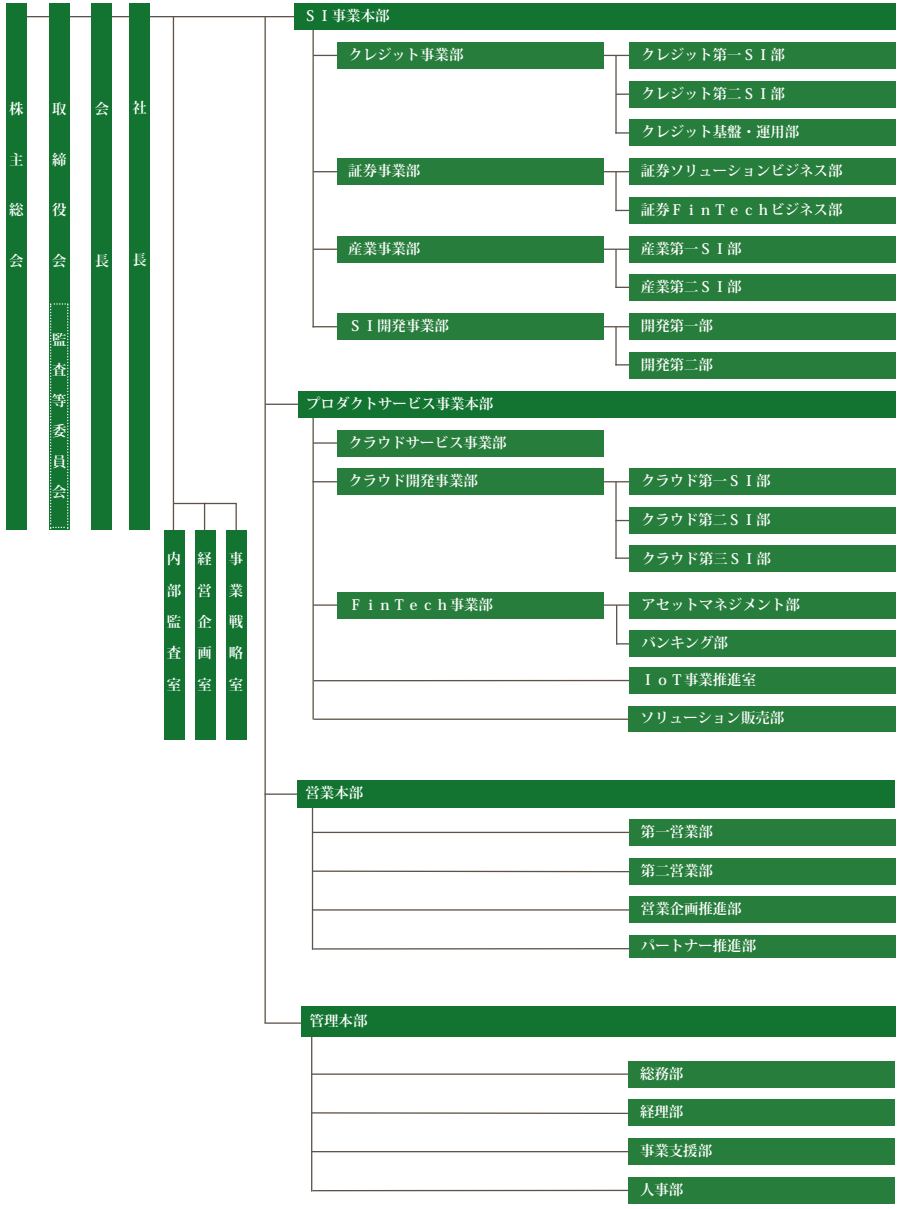
社名	株式会社ソルクシーズ
設立	1981年2月4日
資本金	14億9,450万円
事業内容	ＳＩ／受託開発業務（システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守）、 ソリューション業務（セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守） および関連機器の販売等
所在地	本社　〒108-0023　東京都港区芝浦三丁目1番21号 ℡ 03-6722-5011（代表）　Fax 03-6722-5021 東京ANNEX　〒108-0022　東京都港区海岸三丁目9番15号 福岡営業所　〒812-0038　福岡県福岡市博多区祇園町四丁目2番 ℡ 092-283-8411　Fax 092-283-8412

役員一覧

取締役会長		長尾　章
代表取締役社長		秋山　博紀
取締役副社長		萱沼　利彦　営業本部長
取締役副社長		長尾　義昭　ＳＩ事業本部長
取締役		江口　健也　プロダクトサービス事業本部長 兼 営業本部副本部長
取締役		市川　恒和　経営企画室長 兼 事業戦略室長
取締役		甲斐　素子　管理本部長 兼 総務部長 兼 経理部長
取締役	独立役員	青木　満
取締役	独立役員	山崎　英二
取締役	監査等委員	石田　穂積
取締役	監査等委員	中田　喜與美
取締役	監査等委員	関谷　靖夫
取締役	監査等委員	飯塚　順子

組織図

2026年6月30日 現在



Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

社名について

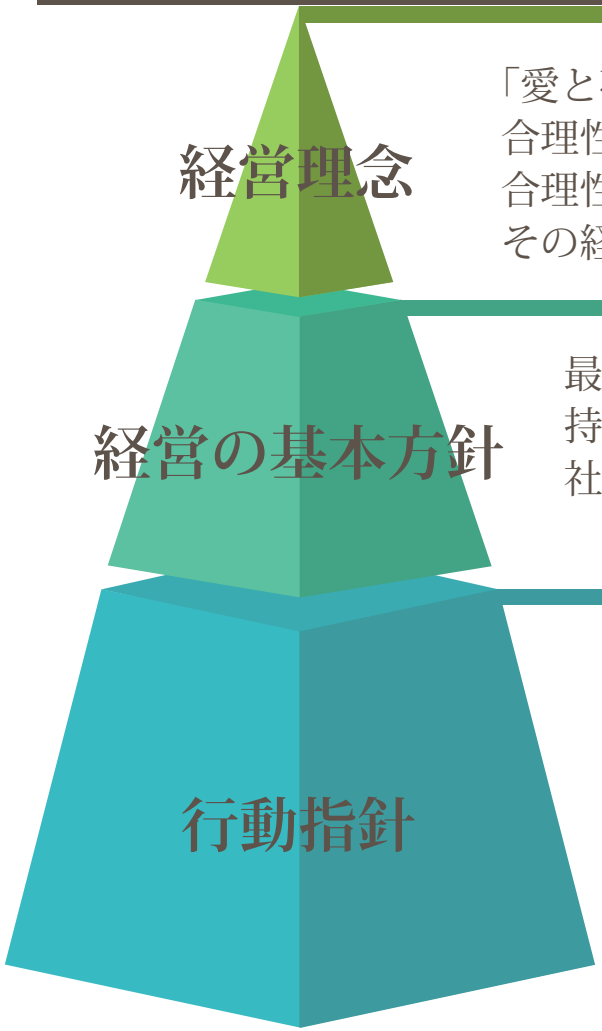
“solution” と “xyz” を融合したもので、究極の問題解決を提供したいという決意と、サービスを生み出す基盤となる技術やアイデアの種（シーズ）を育みたいという願いが込められています。
私たちは、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

SOLXYZ

ロゴマークについて

“ & ” をデザインしたものです。
お客様と株主様と社員と、パートナーの皆様を含め、ソルクシーズを取り巻く全ての環境に対しての心持ちを込めています。
“ & ” は元々 “e” と “t” の合字によって形成されたもので、“et” はラテン語で “und”（～と共に）を意味します。

経営理念・経営の基本方針・行動指針



経営理念

「愛と夢のある企業」を目指します。
合理性に裏打ちされた厳しさは当然必要ですが、ともすれば
合理性に偏重しがちなソフトウェア開発が仕事の中心であればこそ、
その経営には愛と夢が必要と考えます。

経営の基本方針

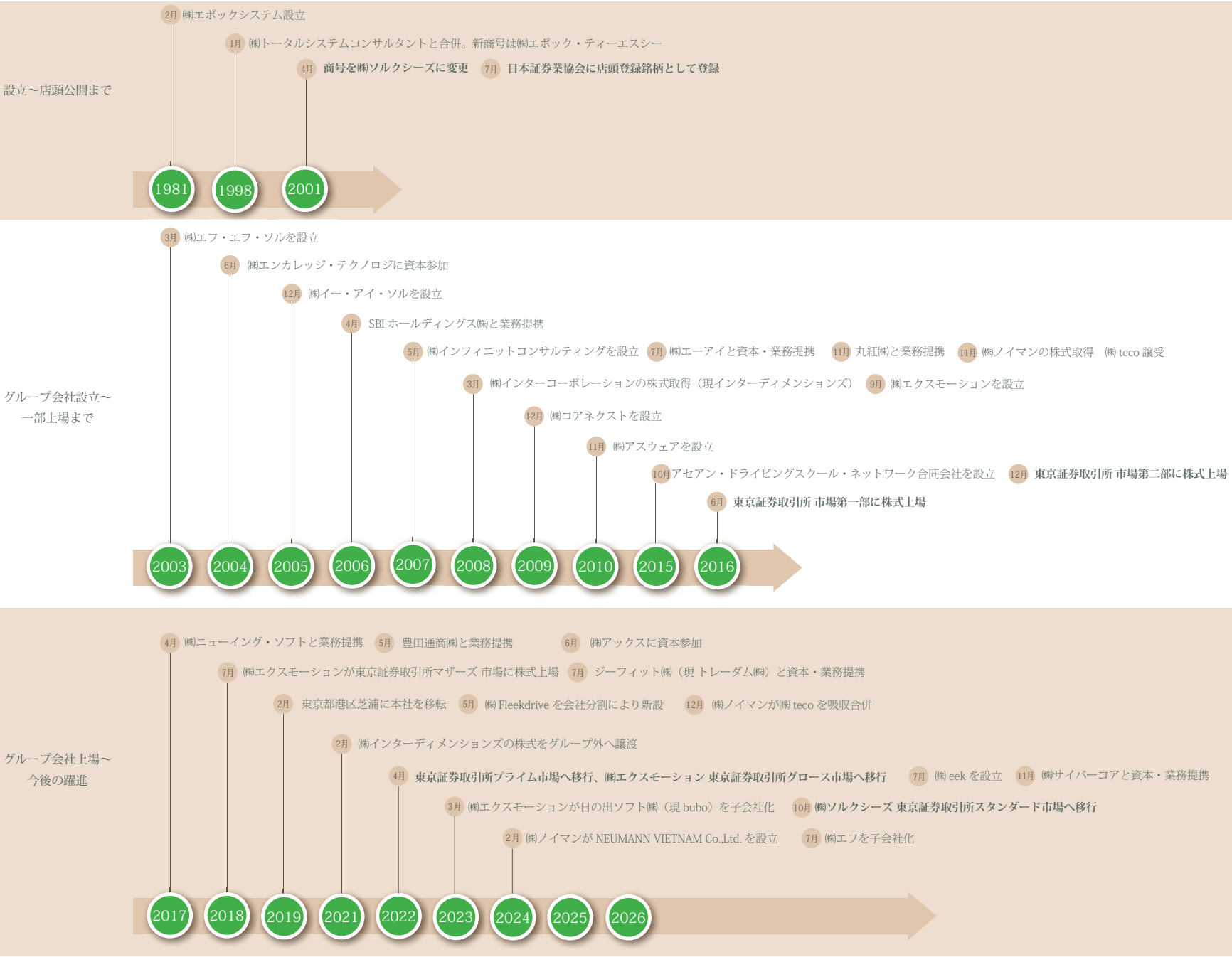
最適なＩＴソリューションの提供を通じて、
持続可能な未来社会の実現を目指し、
社員を含めたすべての人たちに貢献すること

行動指針

ＳＩビジネスとストックビジネスの両輪を通じて、企業価値を高めるために、当グループは以下を行動指針とします。

1．高い技術力を磨き、社会に貢献する
2．お客様に最高の満足を提供する
3．皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4．新ビジネス・新技術へチャレンジする
5．専門特化した技術を駆使したグローバル企業を目指す
6．時流の変化を捉え、迅速かつ柔軟に挑み続ける

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.



Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

英語用語

AI（Artificial Intelligence）
人間が行う「知的活動」をコンピュータプログラムとして実現すること。機械学習をはじめとしたAI技術により、翻訳や自動運転、医療画像診断といった人間の知的活動に、AIが大きな役割を果たしつつあります。

AMO（Application Management Outsourcing）
業務システムの保守作業の委託業務を指します。

BNPL（Buy Now Pay Later）
「今買い、後で支払う」という意味で、消費者は手元に現金がなくても欲しい商品やサービスを見つけた時にすぐ購入する仕組みのことを指し、消費者と店舗の間にBNPL事業者が入り、BNPL事業者が店舗に対して立替払いをおこなうことで消費者が後払いできる仕組みのことです。

DX（Digital Transformation）
企業がビジネス環境の激しい変化に対応しデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織・プロセス・企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを指します。

FinTech
金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた造語で、金融サービスと情報技術を結びつけたさまざまな革新的な動きを指します。

IoT（Internet of Things）
あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称です。

SDV（Software Defined Vehicle）
車と外部との間の双方向通信機能を使って車を制御するソフトウェアを更新し、販売後も機能を増やしたり性能を高めたりできる自動車のこと。例えば、運転支援機能や事故防止機能の改善や新機能の追加、自動運転の精度向上などにも貢献することができ、ソフトの柔軟な進化に対応するために、最新機能をハードに頼らずソフトのアップデートで提供できる仕組み。

SI（System Integration）
プログラムの作成のみでなく、システム開発に必要な一連の作業、すなわちシステムの企画・立案、必要なハードウェア、ソフトウェアの選定・導入、完成したシステムの保守・管理までを総合的に行うことを指します。

日本語用語

エッジコンピューティング
コンピュータネットワークの末端（エッジ）部分でデータを処理するネットワーク技術です。従来のクラウドコンピューティングでは、全ての情報をクラウドに集約しクラウド上の高性能サーバーでデータ処理を行いますが、エッジコンピューティングでは、データ加工や分析など一部の処理をネットワーク末端のIoTデバイス、あるいはその周辺領域に配置したサーバーで行い、加工されたデータのみをクラウドに送信します。不要な通信を避けることで通信遅延やネットワーク負荷の低減などを実現します。

スマートコントラクト
あらかじめ設定されたルールに従って、自動的に取引を実行するプログラムのことです。

バーチャルカレンシー
インターネット上でやりとりできる財産的価値をいい、仮想通貨（暗号資産）のことです。

フィージビリティスタディ
新規事業や、商品・サービスなどの実現可能性を事前に調査し、検討することです。

フィジカルAI
「フィジカルAI（Physical AI）」とは、デジタル空間のデータ処理だけでなく、現実世界（フィジカル空間）にあるロボットや機械などの「身体」を制御し、物理的なタスクを遂行するAIのことです。従来のプログラムされたロボットは、決められた動作を正確に再現することが得意でしたが、未知の状況への対応は苦手でした。しかし、フィジカルAIを搭載したロボットは、人間のように「目（センサ）」で状況を認識し、「脳（AI）」で判断し、「身体（ロボティクス）」で行動します。これにより、不定形物の把持や、状況に応じた柔軟な組み立て作業など、これまで自動化が困難だった領域が可能になります。

ブロックチェーン
情報を記録するデータベース技術の一種で、ブロックと呼ばれる単位でデータを管理し、それを鎖（チェーン）のように連結してデータを保管する技術を指します。ビットコインなどの暗号資産（仮想通貨）に用いられる基盤技術でもあり、同じデータを複数の場所に分散して管理していることから分散型台帳とも呼ばれています。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

【お問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ　経営企画室　市川
E-mail: ir-post@solxyz.co.jp
Tel: 03-6722-5011
Fax: 03-6722-5021
https://www.solxyz.co.jp

【見通しに関する注意事項】

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようにお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われないようにお願いいたします。

Copyright © 2026 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

SOLXYZ

究極の問題解決を提供する会社へ

SOLXYZとは究極（XYZ）の問題解決（Solution）を提供したいという決意と、
サービスを生み出す基盤となる技術やアイデアの種（シーズ）を育みたいという願いを
込めています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

https://www.solxyz.co.jp